

情報提供資料

1 東京 2020 マスコットデビュー

平成30年7月22日(日)に東京 2020 大会マスコットとして、「ミライトワ」と「ソメイティ」が発表されました。

日比谷ミッドタウンでお披露目された後、浅草から隅田川～東京湾を巡る水上パレードが行われ、通過ポイントとなった両国防災船着場では墨田区内の小学生などがマスコットたちに手を振り、応援の声をかけました。



- 東京2020オリンピックマスコット「ミライトワ」
【名前の由来】ミライトワという名前は、「未来」と「永遠(とわ)」というふたつの言葉を結びつけて生まれました。名前に込められたのは、素晴らしい未来を永遠にという願い。東京 2020 大会を通じて、世界の人々の心に、希望に満ちた未来をいつまでも輝かせます。
- 東京2020パラリンピックマスコット「ソメイティ」
【名前の由来】ソメイティという名前は、桜を代表する「ソメイヨシノ」と非常に力強いという意味の「so mighty」から生まれました。桜の触角を持ち、驚きの強さを見せるソメイティ。東京 2020 大会を通じて、桜を愛でる日本の心とパラリンピックアスリートの素晴らしさを印象づけます。

2 東京 2020 オリンピックカウントダウンイベント～みんなの Tokyo 2020 2Years to GO!～

平成30年7月24日(火)、東京2020オリンピック競技大会の開催まで2年前の節目を迎え、東京スカイツリータウンにおいて東京 2020 組織委員会によるカウントダウンイベントが開催されました。

パートナー企業等による競技体験などのブースの他、カウントダウンセレモニー冒頭に行われた提灯行列には、墨田区立業平小学校の生徒も参加し、アスリートとともに東京五輪音頭 - 2020 - を踊り、会場を盛り上げました。



また、墨田区においては同日より墨田区庁舎や区内スポーツ施設など区内各所で「あしたのジョー×すみだ」のオリジナルPR幕やのぼり旗、ポスターなどを掲示し、区内の更なる気運醸成を目指し、シティドレッシングを開始しました。



3 東京五輪音頭 - 2020 - 練習会の実施

1964年の東京大会時に制作された「東京五輪音頭(作:三波春男)」を2020仕様にリメイクした「東京五輪音頭 - 2020 - 」の練習会を開催しました。

計4回実施した練習会には300名以上の方々に参加いただき、東京五輪音頭-2020-を楽しんでいただきました。また、区では町会・自治会をはじめとする区民へ振付映像を記録したDVDを提供しており、区内の多くのお祭りでも踊っていただける予定です。

	日時	会場
第1回	8月2日(木) 午後5時～5時30分	東京スカイツリータウン®1階 ソラマチ広場(墨田区押上 1-1-2)
第2回	8月3日(金) 午後5時～5時30分	〃
第3回	8月7日(火) 午後7時～8時	すみだリバーサイドホール2階 イベントホール(墨田区吾妻橋 1-23-20)
第4回	8月9日(木) 午後7時～8時	すみだ生涯学習センター2階 マスターホール(墨田区東向島 2-38-7)



4 まちづくり・環境部会による打ち水イベントの実施

まちづくり・環境部会参画団体及び地元町会の協力のもと、8月4日(土)にJR両国駅から旧安田庭園までの国技館通りにて打ち水イベントを開催しました。

これはヒートアイランド対策の一環として区の雨水利用をPRするとともに、打ち水が区のおもてなしとして定着することを目的とした墨田区環境保全課事業の「2018すみだ打ち水推進月間」(7月24日～9月6日)にあわせ、「第3回まちづくり・環境部会」にて実施を決定したもので、当日は50名以上の方々に参加いただきました。



5 パラリンピック競技体験の実施

8月25日(土)に開幕まで2年前を迎えた東京2020パラリンピックの普及啓発のため、「THE GREENMARKET SUMIDA」においてオリ・パラPRブースを出展し、パラリンピック競技＝ボッチャの体験会を実施しました。

8月25日(土)・26日(日)2日間に出演し、炎天下の中、約200名の方々に参加いただきました。



6 スポーツ・健康部会によるすみだまつり・こどもまつりへのパラスポーツ体験ブース出展

スポーツ・健康部会では、参画団体からの提案により10月6日(土)・7日(日)の2日間、錦糸公園で開催する「すみだまつり・こどもまつり」にパラスポーツの体験ブースを出展することとなりました。

ボッチャ・ブラインドサッカー・アイマスクマラソン・競技用義足体験の4種他、オリンピック・パラリンピック準備室で出展するVRボクシングを含め東京2020大会のPRを行います。

【日時】平成30年10月6日(土)、7日(日) 午前10時～午後4時

【会場】墨田区立錦糸公園内野球場

7 東京2020オリンピック聖火リレー

東京2020組織委員会は、東京2020オリンピック聖火リレー出発地、出発日、各都道府県を回る順番を発表しました。

聖火リレーは「2020年3月26日」に「福島県」からスタートし、日本全国を一筆書きするように回ります。2020年7月10日からは東京都に入り、2020年7月24日の開会式までに都内全ての区市町村を回る予定です。なお、各都道府県内のルートについては各都道府県の実行委員会において選定することとされています。

各都道府県 実施日一覧

都道府県名	日 程	都道府県名	日 程	都道府県名	日 程
① 福島県	3/26(木)～3/28(土)	⑱ 鹿児島県	4/28(火)～4/29(水)	⑳ 富山県	6/3(水)～6/4(木)
② 栃木県	3/29(日)～3/30(月)	⑲ 沖縄県	5/2(土)～5/3(日)	㉑ 新潟県	6/5(金)～6/6(土)
③ 群馬県	3/31(火)～4/1(水)	⑳ 熊本県	5/6(水)～5/7(木)	㉒ 山形県	6/7(日)～6/8(月)
④ 長野県	4/2(木)～4/3(金)	㉓ 長崎県	5/8(金)～5/9(土)	㉓ 秋田県	6/9(火)～6/10(水)
⑤ 岐阜県	4/4(土)～4/5(日)	㉔ 佐賀県	5/10(日)～5/11(月)	㉔ 青森県	6/11(木)～6/12(金)
⑥ 愛知県	4/6(月)～4/7(火)	㉕ 福岡県	5/12(火)～5/13(水)	㉕ 北海道	6/14(日)～6/15(月)
⑦ 三重県	4/8(水)～4/9(木)	㉖ 山口県	5/14(木)～5/15(金)	㉖ 岩手県	6/17(水)～6/19(金)
⑧ 和歌山県	4/10(金)～4/11(土)	㉖ 島根県	5/16(土)～5/17(日)	㉖ 宮城県	6/20(土)～6/22(月)
⑨ 奈良県	4/12(日)～4/13(月)	㉗ 広島県	5/18(月)～5/19(火)	㉗ 静岡県	6/24(水)～6/26(金)
⑩ 大阪府	4/14(火)～4/15(水)	㉗ 岡山県	5/20(水)～5/21(木)	㉗ 山梨県	6/27(土)～6/28(日)
⑪ 徳島県	4/16(木)～4/17(金)	㉘ 鳥取県	5/22(金)～5/23(土)	㉘ 神奈川県	6/29(月)～7/1(水)
⑫ 香川県	4/18(土)～4/19(日)	㉘ 兵庫県	5/24(日)～5/25(月)	㉘ 千葉県	7/2(木)～7/4(土)
⑬ 高知県	4/20(月)～4/21(火)	㉙ 京都府	5/26(火)～5/27(水)	㉙ 茨城県	7/5(日)～7/6(月)
⑭ 愛媛県	4/22(水)～4/23(木)	㉙ 滋賀県	5/28(木)～5/29(金)	㉙ 埼玉県	7/7(火)～7/9(木)
⑮ 大分県	4/24(金)～4/25(土)	㉚ 福井県	5/30(土)～5/31(日)	㉚ 東京都	7/10(金)～7/24(金)
⑯ 宮崎県	4/26(日)～4/27(月)	㉚ 石川県	6/1(月)～6/2(火)		

TOKYO 2020

8 9月26日から東京2020大会 大会・都市ボランティアの募集開始

東京2020組織委員会及び東京都は、9月26日(水)からそれぞれ大会ボランティア・都市ボランティアの募集を開始します。

	大会ボランティア	都市ボランティア
運営主体	オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	東京都
活動場所・内容	競技が行われる会場や選手の生活ベースとなる選手村、その他大会関連施設等で、観客サービスや競技運営のサポート、メディアのサポートなど、大会運営に直接携われる活動を行う	空港、都内主要駅、観光地、競技会場の最寄駅周辺及びライブサイトにおける観光・交通案内など
人数	80,000人	30,000人
活動日数	10日以上を基本(休憩、待機時間を含み1日8時間程度) 競技スケジュール、活動内容、活動場所などによっては、シフト等の都合により10日を下回る場合もあります。 連続での活動は、5日以内を基本とします。	5日以上(休憩時間を含み1日当たり5時間程度) 活動開始前・活動終了後に各30分程度のミーティングの実施を予定しています。
応募方法	ウェブサイト	ウェブサイト、郵送、FAX
応募可能な方	・2002年4月1日以前に生まれた方 ・日本国籍を有する方又は日本に滞在する資格を有する方	・2002年4月1日以前に生まれた方 ・日本国籍を有する方又は日本に居住する資格を有する方 ・日本語による簡単な会話(意思疎通)ができる方
応募期間	2018年9月26日～12月上旬	2018年9月26日～12月5日